

令和6年能登半島地震に 対する本市の支援状況と 区職員現地活動報告

(令和6年2月区政会議)

令和6年2月28日 (水)

北区役所地域課



令和6年

能登半島地震

2024年（令和6年）

1月1日（月曜日）

午後4時10分

震源 石川県能登地方

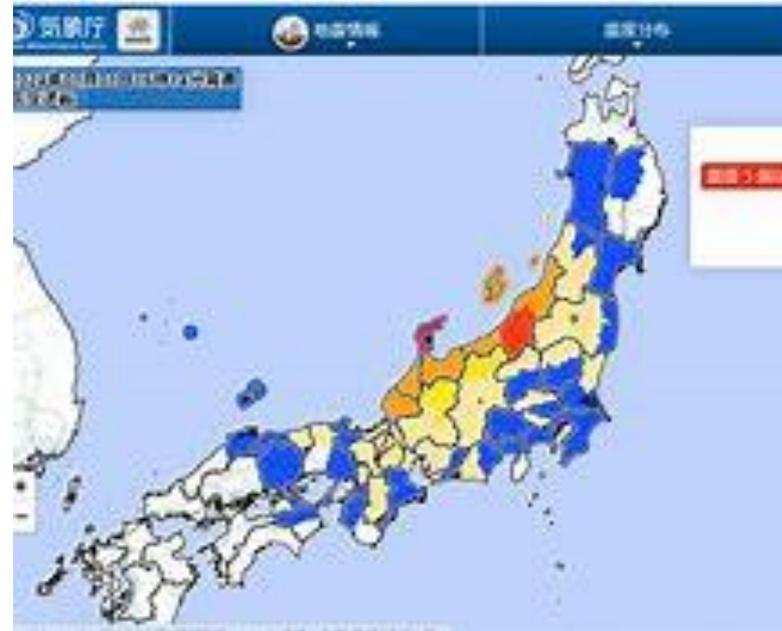
最大震度7 M7.6

日本海沿岸に大津波警報発令
元日午後の発生

死者240人

安否不明者12人

(R6/2/1現在)



大阪市の支援状況

● 消防局

1/1～緊急消防援助隊
救助活動、救急活動、ヘリコプター



● 危機管理室

1/3 災害等支援室設置
1/5～現地連絡員派遣
救援物資配送



● 水道局、環境局、健康局、建設局
都市整備局 ほか

大阪市の支援状況

● 区役所

1/10～ 石川県輪島市での
避難所運営の支援

1/11～ 義援金の募集



区職員の現地活動報告



大阪市 区職員派遣チーム【第2クール】

●期間：令和6年1月14日～19日

●場所：石川県輪島市

●人員：10名

北区、都島区、鶴見区
福島区、西成区
危機管理室



石川県輪島市（現況）

- 人口:約25,000人
- 世帯数:約12,000
- 高齢化率:45.7%



- ・伝統工芸品、漁業など
- ・奥能登地方最大のまち





輪島市の被害状況

建物の倒壊









輪島市の被害状況

大規模火災





輪島市の被害状況

海底隆起



輪島市消防本部内の避難所

●避難者数 67名 1/14現在

※ピーク時 約300名

輪島市内

避難所数 141 か所 (ピーク時 151か所)

避難者数 7,414 名 (ピーク時 約 12,400 名)



●従事者

輪島市職員 1 名

大阪市職員 4 名

(4名×2班交替)

避難所の様子 (消防本部避難所)



1/12 昼 中華丼とピラフ
 夜
 1/13 朝 ファインシェとカステラ
 昼 カレーライスとケチャップライス
 夜 ^{夜飯} ポテトサラダ
 1/14 朝 たけのこごはん (おきぎり)
 昼 ~~カレーライス~~
 夜 卵かけご飯 (トッピングあり) 五目ごはん 豚汁 ^{30分} (夜・輪席)
 朝 おでんご飯

・情報掲示と日用品置き場



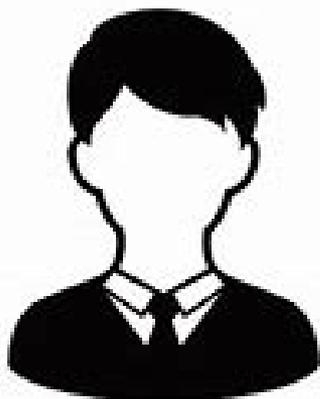
物資管理、避難者への提供



避難者との交流



避難所を担当する地元職員



**輪島市職員
(30代)**

**自宅は倒壊を逃れるも
中はめちゃくちゃ**

妻と子ども、金沢の親族のもとへ

実家は朝市通り（両親無事）

避難している方々



**高齢女性
(70代)**

**自宅が倒壊、閉じ込め
近所の方が引っぱり出し救出**

**介助を受けながらトイレ利用
服は少し破れている**

歩き方が以前と違う

避難している方々



女性
(60代)
民生委員

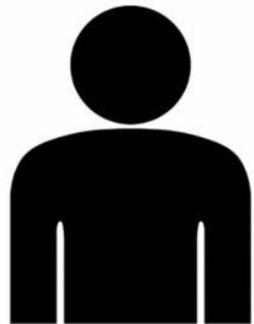
体調不良ぎみ

顔が広い、みんなに話かける

明るくムードメーカー

高齢者など、気にかける

地域の支援者



区長

毎日巡回

地元職員や避難者へ声掛け

2次避難の説明・説得 など



市議会議員



市職員OB

避難所運営に従事して

- 避難者、地元職員ともに疲労困憊
- 体調不良者が 多数

- 地域の世話人等と意見交換
→環境改善、工夫、アイデア生まれる

- 「人」と「人」 支えあい

「助け合い」

「支え合い」

(事例)

仮設トイレの使用ルール、
清掃、消毒を避難者が交
代で説明・介助を行う

(効果)

- ・感染症拡大の防止
- ・自主性、結束力

仮設トイレ、衛生的に

輪島の避難所、有志が消毒呼び掛け



トイレの使用ルールを説明する案内係
＝8日午前9時45分、輪島消防署

輪島市杉平町の輪島消防署の避難所で8日、新型コロナウイルスなど感染症の広がりを防ぐため、避難者の有志が仮設トイレの案内係を設置

した。交代でトイレ前立ち、利用者に使用前の手消毒などを呼び掛けることで、集団感染が発生しないよう徹底している。

消防署玄関前に仮設トイレが置かれたのに合わせて取り組みを始めることにした。案内係は首に「トイレ案内」と書かれた紙をぶらさげ、1時間交代でトイレ前に常駐する。利用者に「使ったら手を消毒してください」「便座の除菌をお願いします」と声をかけた。

消防署には高齢者を含む約200人が身を寄せている。案内係を担当した杉平町の田谷竜一さん(23)は「使い方が分からないお年寄りもいるので説明が必要だ。感染症が起きないよう、みんなできれいに使ってもらいたい」と話した。

帰阪後に振り返り

- ・ 自然災害を止めることは出来ない
 - ⇒ 被災者となる前提で考える
 - ⇒ 他人事から我が事へ

- ・ (みんなで力を合わせることで) 被害の軽減 (小さくする) は可能 ⇒ あきらめない

防災や災害対応に「正解」だけを求めない

「知っている」や「経験」を増やす

「選択肢」や「人」を増やす

イメージする

話す

訓練・研修

聞く・見る

備える

ご清聴ありがとうございました。



奥能登へ「息の長い支援」を

令和6年度 防災施策

1 避難所開設訓練の推進

実施 10地域 ⇒ **拡充**

「災害時避難所の役割周知・体制強化」

- ・開設手順の改善(アクションカードなど)
- ・避難生活の場(避難所と在宅避難)
- ・地域防災拠点(情報や給水、物資 など)
- ・避難所運営における要支援者配慮と共助の視点など

◆実動訓練のほか動画教材活用、地域での研修会を支援



令和6年度 防災施策

2 マンション防災との連携



3 防災講座推進、ツール活用



4 個別避難計画

